

P28b V1647 Ori and Mcneil's Nebula の測光

勝浦真弓子、大西高司、新井彰、堀美沙、鎌田麻里、田中謙一、黒崎恵、住友那緒子、中村健祐、定金晃三 (大阪教育大学)

V1647Ori は、以前の観測では「IRAS05436-0007」や「2MASS J05461313-0006048」などと呼ばれる赤外線天体として検出されていたが、急に可視光の領域でも見えはじめ、2004年2月3日発行のIAUC8284号 (国際天文学連合回報) で、J.W.McNeil氏によって

オリオン座のM 78 星雲の近くで新しい星雲が発見されたと報告された。過去に撮影されたシュミット乾板を調べた結果、2003年11月15日以前にはI (近赤外) バンドでは17等よりも暗く、同年12月15日には15等台まで明るくなっていたこと

が報告されている。

同天体を、2004年9月30日からVRI・H α の CCD 測光観測を大阪教育大学 51cm 反射望遠鏡を用いて観測を行った。2005年の11月頃から急に暗くなり始め、約一ヶ月で1等程減光し、同年12月現在では増光前とほぼ変わらないくらいまで暗くなった。この天体は EXori と FUori 型星の中間的な天体ではないかと言われている。今回は昨年からのデータの結果を考察、報告する。